YOU は何しに郡上へ？～移住者にインタビューしよう～　　社会

1．　研究動機

　私自身移住者ということもあり、移住促進について興味がありました。また、友達から「郡上の良さがわからない」ということを耳にし、“郡上の良さ”とは何なのか、追及してみたいと思いました。

　そこで、郡上で生まれ育った人よりも、郡上に魅了され、郡上に移住してきた人のほうが説得力があると思い、移住者にインタビューすることにしました。

2．　研究概要

・アンケートで郡上市の良い点と悪い点を調査

・インタビュー取材のコツやポイントを調べる

・ふるさと定住機構の真能さんと連絡を取る

・移住者の方々にアポイントメント、インタビュー実行

・インタビュー書き起こし

・冊子制作

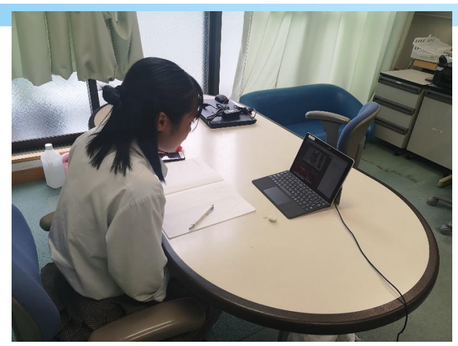
3．　研究内容　～移住者にインタビューしよう～

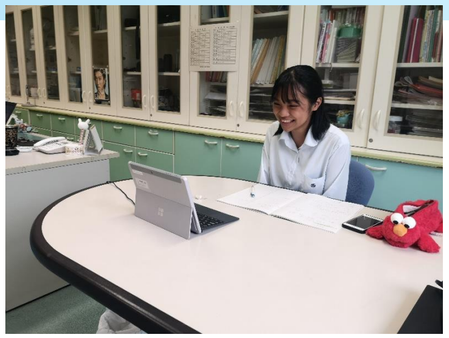
　８名のうち、３名の方はオンラインでインタビューを行い、ほかの５名の方は直接お話を伺いました。質問内容は統一しましたが、話を広げられるようにたくさん質問をし、様々なお話を引き出せることができました。

　冊子作成の際には、読み手が読もうと思うデザイン、内容を考えました。質の良い厚紙で印刷をし、郡上が誇る“水”をイメージし、デザインしました。

冊子の表紙

インタビュー内容





インタビューの様子

4．　まとめ

　インタビューを終え、“郡上の良さ”とは何なのか、改めて考えてみました。

　郡上は、人がぎゅっとしています。すれ違う時のちょっとした会話、知らない人との「いってらっしゃい」と「いってきます」など、郡上で受け継がれてきた文化や伝統。そして、誰かが新しいことをやりたい、と言ったら、誰かが応援してくれる環境。

　これらは全部、人と人とのつながりが、他人でない感じがします。そんな郡上の“土壌”は、昔から築き上げられたものでした。

　私たち高校生は、郡上を出てみないと分からないと思います。小さい頃から郡上にいる私たちにとって、それが当たり前だったからです。私は、この郡上の“土壌”が、人々を魅了する正体だと思います。そしてこの“土壌”が、“郡上の良さ”だと思います。

　また、郡上には“変な大人”がたくさんいることも知りました。

　“変な大人”とは、考えていることが面白くて、人がワクワクすることを企てる人のことです。郡上という地で、新しいことにチャレンジしている大人は本当にかっこいいし、“変な大人”がいるからこそ、郡上の“土壌”はより良くなっていくのだと思いました。

　卒業後は郡上を出ますが、外でさまざまなものを見て、感じて、また郡上に戻ってこようと思います。そして私も、郡上の“変な大人”になりたいです。

5．　協力団体紹介

移住相談窓口　ふるさと定住機構（ふるさと郡上会）

９番　岡本　弥生